



第36回東京都農業祭について

前回の広報誌でもお知らせしましたが、昨年まで「アグリ・フェスタ・トウキョウ」として開催してまいりました、このイベントについて、本年より『東京都農業祭』として開催いたしました。幸い本年は、2日間とも悪天の影響なく、のべ2,000名を超える来場者を迎えることができました。

会場整備や搬入作業等、積極的にご協力頂いた、青年部、理事役員の皆様には、心より御礼申し上げます。



なお、本年の特別賞受賞者は次の方々です。

農林水産大臣賞

町田支部

浅沼 稲次郎 様

東京都知事賞

八王子支部

後藤 茂一 様



写真は農林水産大臣賞受賞の『コウヤマキ』



視察研修のお知らせ

前回の広報誌でもお知らせしましたが、毎年恒例の視察研修会を開催致します。本年については東京都内の緑化施設の視察を予定しています。

日程

平成19年6月7日(木曜日)

参加費 12,000円

(懇親会費込み)

視察場所については、東京湾の「海の森」周辺。視察船『日本丸』にて海上から見学します。その後六本木防衛庁跡地にオープンした『東京ミッドタウン』の視察を予定しております。

都心を視察の後、調布の『神代植物公園』を見学しながら、夕方より懇親会を行いたいと思います。

詳細について、ご質問などございましたら、総務課大蔵までお問い合わせ下さい。

あわせて、ご参加ご希望の方は、支部長を通じてお申し込み下さい

樹々光彩

来年の夏に開催されるサミット（主要国首脳会議）の会場に北海道の洞爺湖（とうやこ）町が決まった。

北海道ならではの美しい自然環境が、環境問題を主要テーマとするサミットの趣旨に最も相応しいと判断されたからだ。

地方分権が言われて久しいが、合併ばかりが進む地方の現状は、同じ北海道夕張市の財政破綻をみても明らかなように、決して成功しているとは言えない状況だ。

宮崎県のそのまんま知事、東国原氏は、そんな地方分権に向けて具体的だ。

いわゆる「観光大国、宮崎」をPRする観光大使として、地鶏の売り込みなど精力的に活動されているのだ。

地方自治の活性化は、日本全体の活性化につながる。そんな元気な地方を見て、私たちは決してそれを「田舎者」だとは言わないだろう。